

第1回定例会  
6月議会

## 誰もが安全に安心して利用できる環境へ

### JR明石駅に昇降式ホーム柵を設置

#### 平成31年度中の利用開始

第1回定例会6月議会が6月9日から6月30日まで開かれました。あかしふるさと図書館条例やJR駅ホーム安全対策事業補助金、待機児童緊急対策事業費等を盛り込んだ平成29年度明石市一般会計補正予算など、議案22件を可決・同意、報告7件を了承、請願1件を採択しました。

6月30日の本会議において、駅ホームの安全対策事業を行うJR西日本へ補助を行うための補正予算案を全会一致で可決しました。

市は、誰もが安全に安心して公共交通を利用できるようにJR明石駅と西明石駅へのホームドア設置に向け、市議会や市民とともに取り組んできました。

このたび、JR西日本が明石駅3・4番線



本のまちあかし

あかし市民図書館で行われた未就学児対象の「おやこでえほん」の様子。市民図書館では、さまざまなイベントが開催されています。今年度の巻頭写真のテーマは、「本のまちあかし」です。

### 待機児童解消へ新施策 補正予算案 全会一致で可決

6月30日の本会議において、待機児童の早期解消に向けた新たな施策として、既存の公共施設等を活用した緊急的な一時預かり事業と、企業主導型保育事業における地域枠設定に対する市独自の支援制度を盛り込んだ補正予算案を全会一致で可決しました。

また、企業主導型保育事業における地域枠の設定促進については、企業が従業員の子どもを対象とした企業内保育所に地域枠として地域の子どもを受け入れた場合、1人当たり最大20万円、1つの事業所につき300万円を上限に市から助成金を支給する制度で、補正

審査を行った建設企業常任委員会では、市からは小規模保育事業にも力を入れ、年度内に1200人の受け入れ枠を拡充し、30年4月の待機児童解消を目指していくと答弁がありました。

業は、待機児童の受け入れ場所を早急に確保するため、従来の一時預かり事業を活用・拡充し、保育所等への入所が決まるまでの間、市の施設や民間スペースを定期利用できるようにするものです。

これらの待機児童対策のほか、保育所新設などにより、年内の保育所等の受け入れ枠の拡充に取り組んでいきます。



昇降式ホーム柵 (イメージ)

予算額は1500万円です。助成金は、備品購入やエアコン等の保育環境整備に充てられます。この事業の開始時期は29年7月頃から、10カ所程度で定員150人を予定しています。

(明石公園側)の昇降式ホーム柵設置工事に向けての設計、ならびに西明石駅の幹線ホーム、朝霧駅、大久保駅および魚住駅にホームの内側を表示する内方線付き点状ブロックを設置するため、その費用を国・県とともに補助するもので、市の負担割合は6分の1で、

2200万円となっています。なお、ホーム柵は、平成30年度から工事を行い、31年度中の利用開始を目指しています。

も	2	市政を問う 13人が登壇 一般質問・質疑	5	新庁舎を考える 特別委員会を設置	8	各議員の議案に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧
く	3	議員よもやま話	6	新議長・副議長に聞く	8	可決した議案を一部紹介 決まりました
じ	4	要望や意見を市議会に伝える 請願・意見書	7	特集 市議会議員のしごと		

マチイロ  
市議会だよりを  
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロード  
が必要です。